

未来をつくる。みんなで作る。

# 2022春季生活闘争ニュース



2022. 3. 9 第4号 発行責任者 連合北海道組織労働局

## 2022春季生活闘争・第26回参議院選挙闘争勝利！！ 全道総決起集会をWEB開催

連合北海道は3月8日、2022春季生活闘争のヤマ場を迎えるにあたり、「2022春季生活闘争・第26回参議院議員選挙闘争勝利 3. 8全道総決起集会」をWEBで開催した。  
本集会は新型コロナウイルス感染防止の観点からオンライン開催となったが、全道で延べ600名が視聴参加し、「未来をつくる。みんなで作る。」を合言葉に、春季生活闘争・参議院議員選挙闘争に取り組む決意を固め合った。

### ■主催者挨拶

杉山闘争本部長は、「経済・社会の原動力となる人への投資を積極的に求め、すべての組合が月例賃金の改善にこだわり、賃上げの流れを継続させ、その成果を中小・地場組合の闘い、更には最低賃金、人事院勧告につなげていこう」と呼びかけた。

また、働き方改革については、「関連する法案がフルスタートした。検証も行いながら処遇改善に取り組んでいただきたい」と求めた。

今年の夏に予定されている参議院議員選挙では、「なんとしても参議院でねじれを作り、自民党一強政治を転換する足がかりをつくる重要な闘いである」として、「連合がめざす働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、構成組織・地域協議会が丸となって闘い抜こう」と力強く決意を述べた。

### ■方針提起

ヤマ場に向け藤盛事務局長が次の通り方針を提起した。

本格的な交渉に向けて交渉準備を整え、月例賃金の引き上げを実現すべく、構成組織、地協が総力を結集して交渉を展開していく必要がある。最大のヤマ場である3月15日～17日を含む「第一先行組合回答ゾーン」、「第二先行組合」、「中堅・中小集中回答ゾーン」に多くの組合が回答を引き出せるよう最大限の取り組みを行い、続く「地場・中小」の闘いにつなげていく。

コロナ禍で一層明らかとなった日本社会の脆弱性と、20年以上にわたる賃金水準の低迷や不安定雇用の増大、中間層の縮小など、傷んだくらしと雇用をこれ以上放置するわけにはいかない。あわせて夏の参議院選挙では連合推薦候補予定者の完勝を勝ち取る。

## 集会で紹介された第26回参議院議員選挙 連合推薦 候補予定者 (3月8日現在)

北海道選挙区候補予定者



徳永 エリ  
立憲民主党  
現職

産別比例候補予定者  
(9名・五十音順)



石橋 みちひろ  
立憲民主党・現職  
情報労連



鬼木 まこと  
立憲民主党・新人  
自治労



かわいたかのり  
国民民主党・現職  
UAゼンセン



古賀 ちかげ  
立憲民主党・新人  
日教組



しば 慎一  
立憲民主党・新人  
JP 労組



竹詰 ひとし  
国民民主党・新人  
電力総連



はまぐち 誠  
国民民主党・現職  
自動車総連



村田 きょうこ  
立憲民主党・新人  
基幹労連



矢田 わか子  
国民民主党・現職  
電機連合